

先生のための 日帰り森林教室

令和元年8月22日（木）、都内小中学校の先生を対象にした日帰り森林教室を檜原村で開催しました。この教室は、先生方が実際に山の現場で働く技術者から直接話を聞く機会を設けることで、森林教育や木育の授業に役立てていただくことを目的に今年初めて開催しました。

参加者は12名で、下刈作業を見学した後、林業技術者と一緒に昼食をとりながら意見交換を行いました。午後には、村の観光名所である払沢の滝や、建設中の木造施設、製材所を見学しました。昼食時の意見交換では、先生方から、林業に就くことになったきっかけや、森で働く魅力など様々な質問があり、普段接することのない林業技術者の生の声に熱心に聞き入る姿が印象的でした。



10:00 武蔵五日市駅に集合



マイクロバスに乗り込み檜原村へ



10:30 檜原村の下刈現場前に到着



ヘルメットを受け取り現場へと向かう



10:50 下刈現場付近のスギ林



森林整備作業の概要について説明を受ける



11:10 下刈現場で作業目的や内容について説明を受ける



12:00 風通しの良い木陰で昼食休憩



現場技術者と一緒に昼食タイム



林業技術者との交流の様子





13:00 日本の滝100選に選ばれた払沢の滝へ



13:45 建設中の木造施設を内側から見学



説明を受けながら木の香りや肌触りを体感



14:30 多摩産材を扱う製材所を見学



15:00 檜原村内の物産店で小休憩



16:00 武蔵五日市駅前で挨拶、解散

先生方の感想（抜粋）

○林業の現場のことだけでなく、市場に木が出るまでのイメージがつかめた。

○現在の林業の生の姿を見ることができ、子供達が考えるためのヒントを沢山もらった。

○実際に働いている方の話を直接聞くことができたのでよかった。

○一番印象に残ったもの ⇒ 何十年も先の山の姿をイメージしながら仕事をしているという現場の方のお話し

○生徒に伝えたいこと ⇒ プライドをもって森を守っている人たちが東京にいること